

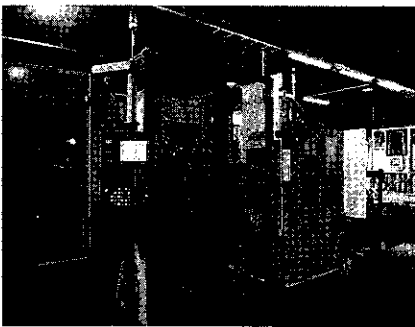
前田鉄工、ロボ参入

車向け部品の知見生かす

来年開発開始

【名古屋】前田鉄工所(名古屋市中川区、前田基樹社長)は、歯車やシャフト製造の知見や試作から量産まで対応できる体制を生かし、ロボット向け部品などの分野に新規参入する。顧客やパートナー企業の開拓に取り組んでおり、2025年までに開発を開始する計画。このほか自動車向けでは歯車やシャフト以外の部品にも参入し、27年には売上高全体の25%を新規ビジネスにすることを目指す。

前田鉄工所は自動車をはじめ農業機械、建設機械向けの歯車やシャフト、油圧部品、精密部品などを製造している。特に自動車向けはトランスミッション(変速機)部品やエンジン部品やエン



量産用の設備にはロボットを導入し自動化を図っている

▲企業探しを開始した。

ロボット部品など参入を狙う業界に強みを持つパートナー企業との協業も検討している。同社では

「REACTOR」や経産省の支援事業「ミカタプロジェクト」に参画。専門家のサポートを受けながら自社の強みの分析や新規顧客開拓、パートナー

また自動車部品は旋盤やマシニングセンター(MC)による加工技術を生かした鋳物加工など、トランスミッション、エンジン部品以外の受注獲得を見込む。

前田鉄工所は試作、開発から少量、大量生産まで一貫で対応できることが強み。量産用の設備にはロボットを導入し自動化を図っている。

バイク用音声ナビ無償提供

パイオニア 6月末まで

パイオニアは22日、バイク用音声ナビゲーション「MOTTO

三式典

福島製鋼(株) 坂明弘社長
福島市内の赤木70周年記念式を聞いた。取

た。
は水
業の